

③ 公開実用新案公報 (U)

昭57-73304

④ Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 01 D 5/30  
5/14  
5/34

識別記号

庁内整理番号  
7910-3G  
7910-3G  
7910-3G

⑤ 公開 昭和57年(1982)5月6日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑥ タービン動翼

芝浦電気株式会社タービン工場  
内

⑦ 実 願 昭55-149742

⑧ 出 願 昭55(1980)10月22日

⑨ 考 案 者 長尾進一郎

横浜市鶴見区末広町2の4東京

⑩ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

川崎市幸区堀川町72番地

⑪ 代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

⑫ 実用新案登録請求の範囲

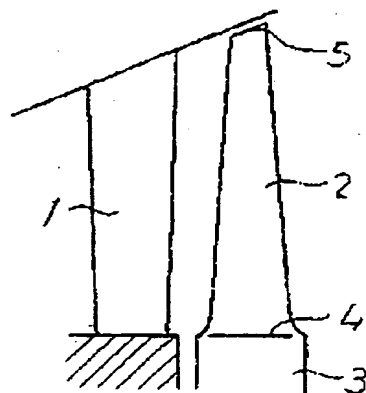
- (1) ノズル固定台と動翼の翼根部とが段差を有する段落の動翼植込部に形成した逆T字の溝にT字状のピースを嵌合し、ノズル固定台と動翼の翼根部とを同一基線にしたことを特徴とするタービン動翼。
- (2) ピースの前端部はなめらかな曲線をなすように折曲げたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のタービン動翼。
- (3) ピースに代えて動翼の翼根本基線に突出部を設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第2項記載のタービン動翼。

図面の簡単な説明

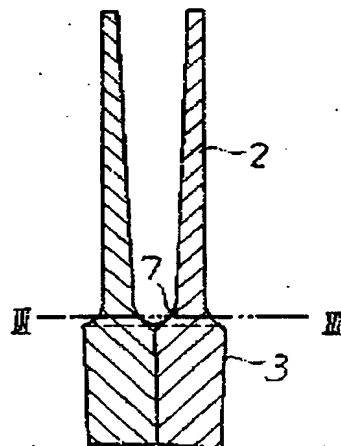
第1図は従来のノズルと動翼とで形成される段差を示す図、第2図は動翼のタービン回転軸に垂直な面における断面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線に沿う切断断面図、第4図はノズルと動翼とが段差がついて配置されている従来の実施例を示す図、第5図は本考案の一実施例を示す図、第6図は第5図の分解斜視図、第7図は本考案による縦断面図、第8図は本考案の他の実施例を示す図である。

2……動翼、3……植込部、4……静翼固定台、7……翼根本基線、13……ピース、15……突起、16……溝。

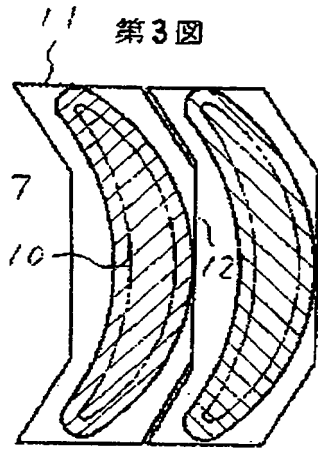
第1図



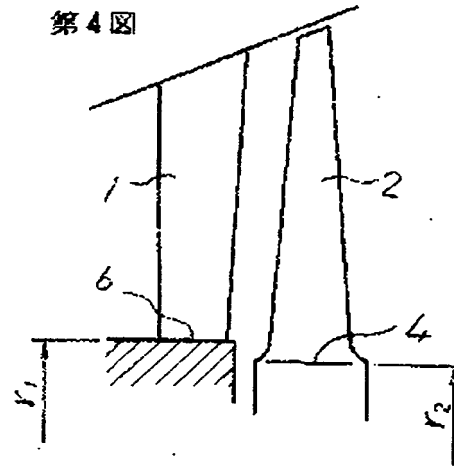
第2図



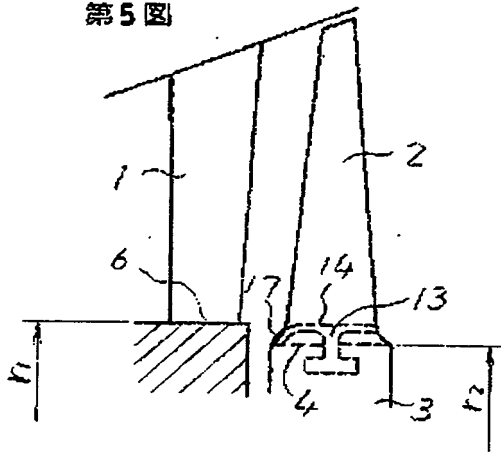
第3図



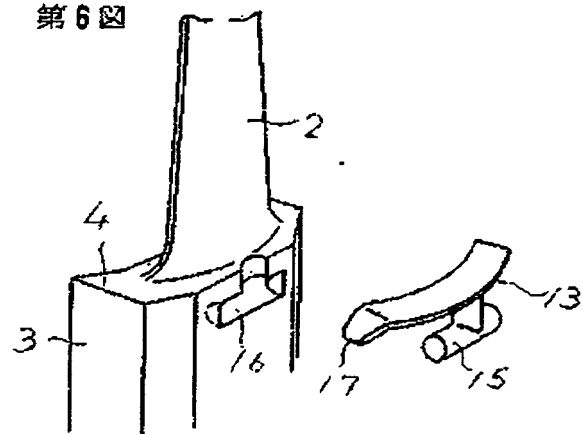
第4図



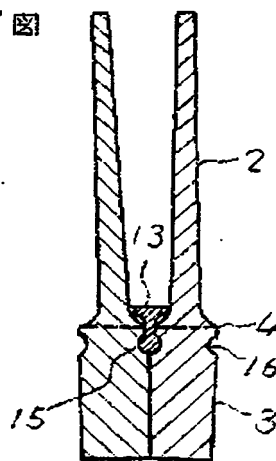
第5図



第6図



第7図



第8図

